

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 3728

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	観啓大学		開催方法	■対面（ ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	多文化共生社会論（日本語）		配当年次	2
				受入学年	2
	学問分野	番号	27	名称	その他
3. 担当教員名	瀬古 素子				
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期前半	
6. 開講期間 曜日・時間	2023年 10月 10日（火）～ 2023年 11月 28日（火） 火 曜日 9:00 ～ 12:30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名		9. 選考方法	観啓大学学生の履修者が定員上限に達しない範囲で受入	
10. 科目内容・授業計画	<p>グローバル化や少子高齢化などが進む現代社会では、国籍や性別、年齢やセクシュアリティ、障がいの有無や信仰などに関係なく多様な人が安心安全に暮らし、活躍できる社会を作っていくことが不可欠である。また世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会を作るためにもジェンダー平等や国内外での不平等の解消が必要とされ、SDGsのゴールにも含まれている。本科目では個人やコミュニティ（当事者の集団）が持つダイバーシティ（多様性）とその多様性を生み出す背景を理解した上で、現代社会の中でそれらの多様性がどのような課題の原因となり、また解決の糸口となり得るかを考え、多文化共生社会の形成のために必要な視点と基礎知識を得ることを目的とする。</p> <p>本科目はショートレクチャー、アサインメント（リーディング、リサーチ）、グループディスカッション、レポートなどで構成される。第3回目（第2週）以降、受講者は前週に講師から指定された文献や映像資料を元に、指名された班がレジюмеを用意し、内容を要約し、疑問点や論点を提示する。その後クラス全体でグループディスカッションを行う。講師は必要に応じて論点を解説し、当事者団体等からの外部講師招聘も積極的に行う。また課題（グループワーク）として当事者インタビューを実施し、第9回目の授業では異なるアイデンティティを持つ集団が関心を持つ社会課題について、当事者視点を共有するための報告を行い、当事者コミュニティ、NPO、企業、行政などと連携しながら、どのようにして多様性を受容し、多文化共生社会を形成するか、という後半の議論に繋げる。）</p>				
11. 試験・評価方法					
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	⊖	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	⊖	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。